

(様式1)

## 自己評価票

作成日 平成21年 9月 3日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870300878		
法人名	有限会社ケア・コンフィデンス		
事業所名	グループホームしょうわ家族	ユニット名	鶴
所在地	〒300-0877 茨城県土浦市荒川本郷218-173		
自己評価作成日	平成21年 8月31日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	
-----------------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内
訪問調査日	平成22年11月9日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none"><li>・旬の野菜を取り入れた食事</li><li>・玄関を施錠せず、開放的な生活空間を維持</li><li>・”もうひとつの家族”のような、共に暮らす者同士のお付き合い</li></ul>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスと明記してはいないが、実践につなげている。しかしまだ努力が必要かと思われる。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者の散歩時や、近所の美容室を利用するなど、挨拶や会話を交わしながら交流を深めている。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	浸透しつつあるように思うが、どこまで理解していただいているかはわからない。今後も地道な努力を続けたい。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議で話し合われた内容は議事録で全スタッフに公開し、意見を受け止め、サービス向上に繋がるよう努めている。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	原則的には玄関の施錠をせず、出入りが自由である。転落防止のベッド柵は必要に応じて使用しているが、家族と密に連絡を取り過剰にならないようにしている。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	皆の目や声が届くようオープンにしている。衣類の着脱時や日常生活の中から目立って外傷がないか等目配りしている。しかし、学ぶ機会が少ないので、今後検討する必要がある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	制度について学ぶ機会や活用する場面がなく、把握出来ていない。今後学んでいく必要がある。
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者が項目通り行っている。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	改めて意見を表せる機会は設けられていないが、面会時や電話などで、随時話や要望を聞き、反映させている。
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のケア会議等で提案の機会があり、反映させている。
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	スタッフの休憩室が設けられていないことが、改善されていない。
13		○職員を育てる取組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	必要に応じて研修等に参加出来るよう勧めている。
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同業者と交流する機会がほとんどない。今後検討する必要がある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	項目通り努めている。
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	項目通り努めている。
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	項目通り努めている。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活の中で、日々関係を築きながら、スタッフも本人も共に”しょうわ家族”であると意識している。
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人と家族が一緒に過ごせる時間を大切にしている。また何か問題が生じた場合は家族に意見を聞く等し、一方的にならないようにしている。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会や電話など、心地よく交流できるよう支援している。
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の様子を把握し、職員が仲介役となつて、その場面に合った支援をしている。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	
			実 施 状 況	
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された後も家族から連絡があったり、面会、電話、手紙などいろいろな手段によって交流を持ち、相談などにも応じている。	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の思いを大切にするように努め、本人の意向に出来るだけ添って対応するよう心がけている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族や本人からの聞き取りの他、要介護認定情報やケアアセスメントの閲覧ができるようになっている。	
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の流れの中から観察し、異変を早期発見できるよう努めている。	
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族とは相談したりもするが、本人とは改まって話し合うというよりは、普段の会話の中から計画に結びつく事柄を見つけている。状況の変化に対応して即応するには改善が必要。	
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	努力しているが、十分とはいえない。今後改善、検討が必要。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	項目通り行えている。
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員はいない。介護スタッフ間では常に情報交換を行い、都度協議し支援している。
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	綿密に行っている。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	取り組んではいるが、地域の関係者と共にという点では十分とはいえない。
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な訓練は行っていない。実践力を身に付けているとは言い難い。
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	全スタッフが身に付いているとは言い難い。今後検討する必要がある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	全スタッフが徹底し、行えているとは言い難い。丁寧な対応ができていない場面も見られる。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で声掛けにより自己決定を支援するよう心がけている。
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースに合わせた暮らしが出来るよう支援に努めているが、丁寧さに欠ける場面もある。
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の希望に添って支援している。美容ボランティアの方が来てくださっていることも大きく役立っている。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者それぞれが持っている力に応じて行ってもらえるよう支援している。
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事の状態を把握するよう努めているが、バランス良く摂取してもらえない現状もあり、個別に支援している。
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者全員の口腔ケアは行っていない。改善、検討が必要である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定時のトイレ誘導や状態の変化に合わせて対応している。一人ひとりに合ったリハビリパンツやパットの種類などを工夫している。
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分を多く取るよう促したり、野菜の多い食事内容を心がけているが、十分とはいえない。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	できるだけ希望に合わせて支援しているが、全員の希望通りには行えていない。
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	それぞれのペースで休息したり、気持ちよく過ごせるよう見守り、声掛けするなど支援している。
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の介助、チェックは重ねて気をつけている。変化があれば速やかに申し送り等を行っているが、今後も投薬間違いがないようスタッフ同士が確認し合うことが必要。
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一部の利用者に役割が集中しがちなので、それぞれが持っている力を活かせるよう努めたい。
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	取り組んではいるが、まだ十分とはいえない。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の管理ができる利用者は自分で財布を持っているが、お金を使う機会をうまく作れていない。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>公衆電話を設置している。家族と手紙（はがき）をやりとりしている利用者には支援している。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>花や絵を飾り季節感を出している。窓や玄関を開放し、新鮮な外気を取り入れている。両ユニットの共有スペースに座敷があり、外を眺めたりのんびり過ごせる空間がある。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>各ユニット毎のホールだけでなく。共有スペースにも自由に過ごせる空間がある。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族の協力もあり、大切な物や馴染みのもの（タンス、仏壇等）や思い出の品などが持ち込まれ、安心して過ごせる工夫をしている。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>環境づくりにつとめているが、まだ手すりが必要な所が残っているなど、さらに配慮が必要であると思われる。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1,ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2,利用者の2/3くらいの 3,利用者の1/3くらいの 4,ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1,毎日ある <input type="radio"/> 2,数日に1回程度ある 3,たまにある 4,ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1,ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2,利用者の2/3くらいが 3,利用者の1/3くらいが 4,ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1,ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2,利用者の2/3くらいが 3,利用者の1/3くらいが 4,ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1,ほぼ全ての利用者が 2,利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3,利用者の1/3くらいが 4,ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1,ほぼ全ての利用者が 2,利用者の2/3くらいが 3,利用者の1/3くらいが 4,ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1,ほぼ全ての利用者が 2,利用者の2/3くらいが 3,利用者の1/3くらいが 4,ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	1,ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2,家族の2/3くらいと 3,家族の1/3くらいと 4,ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1,ほぼ毎日のように 2,数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3,たまに 4,ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1,大いに増えている <input type="radio"/> 2,少しずつ増えている 3,あまり増えていない 4,全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	1,ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2,職員の2/3くらいが 3,職員の1/3くらいが 4,ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1,ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2,利用者の2/3くらいが 3,利用者の1/3くらいが 4,ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1,ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2,家族等の2/3くらいが 3,家族等の1/3くらいが 4,ほとんどいない